

(スキーイング)

## 「誰でも SKIING プロジェクト！」

ユニバーサルツーリズムやインクルーシブ教育の普及・推進へのさらなる取り組み

特定非営利活動法人 児童夢基金（東京都世田谷区/代表理事 高岡哲郎）は、スポーツ体験事業の一環として、「誰でも SKIING プロジェクト」をスタートいたしました。

このプロジェクトは、志賀高原を拠点として活動する Mountain Discovery ユニバーサルアクティビティ（長野県下高井郡/代表 池上恵光）とのコラボレーションで展開し、今まで支援してきた「デュアルスキー（※1）」に加え、より自由な滑走感を体験できる「スノーカート（※2）（仏 TESSIER 社製）」を導入することで、さらなる普及を目指します。子どもたちからあらゆる年齢、自由に身体を動かすことができない方への体験環境を整備し、今後も、子どもたちのユニバーサルツーリズムやインクルーシブ教育の普及・推進への取り組みをすすめてまいります。



※1) デュアルスキーとは

椅子とスキーが一体となった専用機材で、パイロットが操縦することで滑走体験を可能とする。座位が保持できなくても『椅子に座る』ことができれば誰でも搭乗できる。



※2) スノーカートとは

椅子とスキーが一体となった専用機材で、専用ハンドルを自ら操作することで緩斜面の自在な滑走が可能。上半身が安定し、片方の腕が動けば単独でスキーを楽しむことができる。

## ■デュアルスキー/スノーカート 体験プログラム概要

<1日(4時間) ¥50,000>

カートレンタル ¥30,000

パイロットサポート ¥20,000

※カートのみのレンタルも承ります(対象機材パイロット経験者のみ)。

<滑走スキー場>

志賀高原(丸池、蓮池、サンバレースキー場)

※近隣スキー場でのご要望は個別に承ります(別途出張費)。

<参加条件>

- ・体重70キロ以下の児童から成人
- ・座位が取れる方(保持できなくてもOK)
- ・医療機器を使用している方は予約の際に必ず申告願います。

<詳細・お申込み>

[Instagramよりお申込みください](#)

運営: Mountain Discovery ユニバーサルアクティビティ



MARUIKE\_UNIVERSAL\_ACTIVITY

## ■ 児童夢基金プロフィール

特定非営利活動法人 児童夢基金は、東日本大震災時、大船渡市と陸前高田市の子どもたちへランドセルや文具を送ったことをきっかけに、復興支援活動を継続的に企画・実行するボランティア団体として2011年3月に発足しました。以降、被災地の復興に欠かせない子どもたちの夢を応援する基金として活動を続け、2013年9月に非営利法人として再編。個人から企業まで多方面からのご支援により、現在では被災地に限らず「未来を担う子どもたちが夢を抱き、前に進む力を育むためのサポートを行う」という目的での様々な支援要請を受け付けています。

<主な支援活動>

2011年 東日本大震災後に、ランドセルや靴、文具など100箱以上の荷物を積んで子どもたちの元へ

2012年 気仙小学校、気仙中学校、末崎小学校卒業アルバム復刻支援

2014年 大船渡中学吹奏楽部へ吹奏楽楽器一式贈呈、「リアスリーグ決勝戦」支援

2015年 大船渡市立猪川小学校へ運動会支援、「リアスリーグ決勝戦」支援

2018年 大船渡市立立根小学校、山田町立山田南町学校、陸前高田市立広田小学校にジャングルジムや雲梯等寄贈

2019年 山田町立山田北小学校、宮古市立 鉄ヶ崎小学校、石巻市立飯野川小学校ジャングルジムや登棒等寄贈

2020年 佐賀県立金立特別支援学校、熊本県山都町立中島小学校にすべり台やジャングルジム寄付

2023年 吉球磨町小学校、中学校、9校分「復刻版卒業アルバム」支援

2024年 石川県能登町小中学校全9校1214名の熱中症対策の支援

<本件に関するお問合せ先> 特定非営利活動法人 児童夢基金

Tel: 090-6952-2331 E-mail: [pr@yumefund.org](mailto:pr@yumefund.org)

URL: [www.yumefund.org](http://www.yumefund.org)